

農福
連携

株式会社チャレンジファーム (湖南省針)

○チャレンジファームってどんなところ？

「チャレンジファーム」は、農業という仕事を通じて自立した生活を送るため、年齢や障害の有無に関係なく、すべての人にチャレンジできる場所を提供したいという思いで、設立されました。

主な事業は養鶏と養蜂で、養鶏では採卵鶏を約2000羽飼養されています。養蜂では湖南省や大学と連携して商品開発に取り組まれるなど、様々な事業を展開されています。

利用者の方は、週に数回それぞれのペースで養鶏や養蜂などの作業に取り組み、社員の方や外部の方と接することで、社会で生活するためのスキルの習得を目指されています。



取締役 黄瀬 昇さん

○農福連携を始めたきっかけ

農業をされていた黄瀬さんが、平成25年頃に湖南省から障害者の方の就労支援について相談を受け、福祉事業所の障害者の方へ特産の「下田ナス」の収穫・選別・除草などを依頼されたのがきっかけだそうです。6月から10月にかけての暑い時期、また足元が悪い中での重労働であったこの取組は、3年間で終了されました。この経験から、障害者の方が継続して活動できる場所を提供したいと考えられた黄瀬さんは、代表取締役である三原成泰さんと一緒に、平成28年に「チャレンジファーム」を設立されました。



○養鶏・養蜂に取り組む理由

継続して農福連携に取り組むには品目の選定が大切だと感じた黄瀬さんは、「チャレンジファーム」の設立にあたり、地元養鶏場を引きついで経営の柱とされました。

養鶏は、エサやり、卵採り、洗卵、パック詰めなど、毎日同じ作業があるため、利用者の方が取り組みやすく、年間を通じて仕事を提供することができると考え、取り組む品目に選定されました。養蜂も同様に、作業手順が一年中同じで、利用者の方が作業しやすいと考えたからだそうです。



○取組の概要

養鶏の作業内容は、エサやり、卵採り、洗卵、卵の選別、パック詰めです。取材の際、利用者の方は、手際よくニワトリにエサを与え、生まれたての卵を丁寧に箱に入れるなど、自分自身で作業を進めていらっしゃいました。

養蜂の作業内容は、ハチミツのビン詰め、ビンのラベル貼り、ラベルの日付入れです。ハチミツを均一にビンに入れるのは難しい作業ですが、利用者の方は集中して作業に取り組み、ラベルをまっすぐに貼り、丁寧に製品づくりを行われていました。



○工夫していること

「チャレンジファーム」では、一般的なマニュアルよりも作業内容を具体的に書いた作業要領書を作成されています。この要領書は、事前に利用者の方に内容を確認し、納得していただいてから使用されています。また、一度作れば終わりというわけではなく、利用者の方に合わせて少しずつ改善し、いろいろな方が使いやすい作業要領書を目指されています。

**県内の農福連携の取組を
動画でご覧いただけます！！**



滋賀の農福

検索

○今後取り組みたいこと

チャレンジファームの取組が軌道に乗ってきたことから、令和3年の夏には黄瀬さんが代表となり就労継続支援B型事業所「NPO法人こけっこ湖南」を立ち上げられました。

本格的な取り組みが始まることから、利用者の方の仕事と工賃の安定的な確保を目指し、新しくナシ栽培も導入される予定です。

さらに、収穫した卵やハチミツで作るシフォンケーキなどの販売も考えておられ、将来的には「玉子焼き定食をメインに、蕎麦も提供するような食堂の運営もやりたいです！」と、たくさんのアイデアを語っていただきました。

○農福連携を検討されている方へ ～黄瀬さんからのメッセージ～

障害者の方の中には、少しの支援があればいろいろな場所で働ける方がたくさんおられることを、より多くの方に理解していただく努力をしなければならないと思っています。私も、障害者の方に就労いただける場所を少しでも増やしていきたいという思いで、農福連携に取り組んでいます。

農福連携は難しい部分もありますが、必ずできるんだという思いを持って、焦らずに進めてください。そして、多くの仲間を引き入れて、その仲間の助けを得ながら、夢を持って長く取り組んでいただけたら実現できると思います。頑張ってください。

データ DATA

【組織名】 株式会社チャレンジファーム

【所在地】 湖南省針 1380

【連絡先】 TEL：0748-72-4700

【 HP 】 <https://challenge-farm.com>

発行：滋賀県農政水産部農業経営課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1

TEL:077-528-3831

E-mail:noufuku@pref.shiga.lg.jp